

平成30年度

企画調整課事務報告

企画調整係

商工観光係

情報通信係

○事業成果の概要（企画調整課）

平成30年度は、第5次山江村総合振興計画が計画年度終了となることから、次期計画となる、第6次山江村総合振興計画を策定した。

事業全体の運びについては、平成27年11月に策定した「山江村人口ビジョン」及び「山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる数値目標の実現に向け、各種事業を実施した。

平成28年度補正予算を活用し、地域観光交流の拠点とし、農林産物の収益性を生み出す目的で地方創生拠点整備事業により、合戦峰観音堂の周辺を物産販売所として整備を行い、平成30年6月に完成した。

その後、より地域に根付く運用を図るため地域住民との話し合いを行ない、同年9月から運用を開始している。

また、やまえ栗の更なる需要拡大とブランディングを図るため、山江村物産館敷地内にやまえ栗ペーストの加工施設整備を整備し、平成31年3月に落成式を挙行了した。

人づくり分野では、住民参画による村づくり組織『100人委員会』の各部会での活動が活発化し、食の提供部会では、「トキの朝市」を開催されたのをはじめ、多くの部会で活動内容が具現化した。

このほか、再生可能エネルギーの活用について、木質バイオマス資源や太陽光発電によるエネルギー活用の調査検討を行った。

移住・定住対策事業として、堂園地区に宅地分譲地3区画を整備するとともに、体験型宿泊施設「淡島ゲストハウス」の運用を継続的に行っている。また、最近利用者がなかった「ほたるの荘」であるが、年間の利用料のを引き下げを行い、利用者の獲得にあたった。

携帯電話等の不感地域解消のため、万江横手・日当・鳥屋に携帯基地局の整備を行い10月に完了した。事業完了によって携帯電話等の人口カバー率は100%となり、携帯電話の不感地域は解消された。

企画調整係

1. 地方創生推進事業

平成27年11月に策定した「やまえ・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標達成に向け、地方創生拠点整備交付金（H28繰越）を活用した、合戦峰物産販売所の建築については、設計協議に不測の日数を要したため繰越となっていたが、平成30年6月をもって施設が完成し、同年9月より地域住民が構成員となった「合戦峰物産販売所管理組合」が組織され、管理・運営の委託を開始している。

また、平成29年度（繰越）事業として採択を受けていた、やまえ栗加工施設生産向上プロジェクトによる栗加工施設の整備を平成31年3月末に終えており、今後のやまえ栗の新たなシェア開拓に向け一石を投じた。

併せて、まち・ひと・しごと創生に資する事業を推進するため、地方創生推進交付金の採択を受け、「やまえ栗ブランド力向上推進事業」を行なった。

【H28繰越 地方創生拠点整備】 交付確定額 19,496,026円（単位：円）

No	事業名	施工（委託）業者	金額（税込）	期間	備考
1	合戦峰地区物産販売所建築工事	(株) 岩井工務店	29,376,000	H29.12.14～ H30.5.21	事故繰越 (H30完了)
2	上記の変更（増額）	"	3,106,217	～H30.6.15	効果促進分
3	合戦峰地区物産販売所建築工事管理業務委託	(株) 隈研吾建築都市設計事務所	1,512,000	H29.12.14～ H30.5.25	
4	各種備品購入	(株) オカモト 坂田工務店 田中テント	499,636		商品陳列棚 パイプテント 防犯カメラ 他

【H29繰越 地方創生拠点整備】 交付確定額 18,662,000円（単位：円）

No	事業名	施工（委託）業者	金額（税込）	期間	備考
1	やまえ栗加工施設設計業務委託	(有) 本田建築設計事務所	1,144,800	H30.5.15～ H30.6.15	
2	やまえ栗加工施設監理業務委託	(有) 本田建築設計事務所	941,094	H30.8.10～ H31.3.7	
3	やまえ栗加工施設建築工事	(株) 中央設備	26,138,951	H30.8.10～ H31.1.31	
4	やまえ栗加工施設設備工事	(株) 和田機械	13,824,000	H30.9.11～ H31.2.7	

※栗加工施設に係るその他の工事等

- ・やまえ栗加工施設ボイラー格納庫建築工事 4,050,000円
- ・やまえ栗加工施設付属ボイラー購入事業 2,581,200円

【平成30年度 地方創生推進交付金】 交付確定額 22,301,072 円

やまえ栗のブランド力向上のため、以下4つの重点目標を定め各種事業を行なった。

- (1) 収穫量の増加と担い手の確保
- (2) ブランディングと情報発信による高付加価値化
- (3) 観光施策の充実と観光客の受け入れ態勢の充実
- (4) 東京大学との共同研究及び人材育成

○ 第6次山江村総合振興計画の策定

2. 山江村住宅リフォーム助成事業

住民の居住環境の向上及び村内の商工業等の活性化を図るため、住民が居住する住宅のリフォームにおいて助成を行った。

(単位：円)

No.	対象必須工事	工事額 (税込)	交付決定額
1	段差解消	8,160,000	200,000
2	段差解消	243,000	48,000
3	段差解消	1,924,149	200,000
4	公共下水道等接続	4,104,000	200,000
5	段差解消	1,859,760	200,000
6	公共下水道等接続	1,101,600	200,000

3. 企業誘致

人吉・球磨企業誘致連絡協議会の活動

人吉・球磨の10市町村が、企業誘致に関する情報を交換し、また、連携して企業誘致を推進することにより、人吉・球磨地域における雇用の場を創出することを目的として活動を実施した。

【平成30年度の活動実績】

- 運営委員会の定例会を各月開催 (11回)
- 熊本県企業立地課との意見交換会の実施
- 人吉球磨の誘致企業見学 (株式会社全日本部道具あさぎり工場、合資会社大石酒造場)

- 九州管内の大学との連携（崇城大学地域共創センターの訪問）
- 企業立地フェア2018への出店（東京ビッグサイト）
- 企業誘致に関する先進自治体等への研修・訪問（菊池地域企業誘致推進プロジェクト協議会、南関町加工品開発センター）

4. 再生可能エネルギー事業

山江村に豊富に存在する森林資源を活用した木質バイオマス事業を行うことで、地産地消の持続可能なエネルギー社会を構築することを目的とし、調査検討業務を行った。

- 木質バイオマス資源の持続的活用に向けた設備導入計画策定業務

13,989,240円

- 太陽光発電システム設置費補助金

50,000円

5. 広報やまへの発行

「広報やまへ」は、住民へ山江村の政策や住民サービス情報、村内の話題等を伝えることを通じて、住民と行政のパイプ役として重要な役割を果たしている。また、村外にいる山江出身者へも故郷の状況を伝える役目も担っている。

現在、広報誌の内容はホームページ上でもPDF形式により掲載。購読希望者へは有料で送付している。

- 事業費 2,809,728円（印刷・製本）
- 発行部数 1,400部／1カ月
- 発行日 毎月第4金曜日
- 村外購読者数 16名

6. 統計調査業務

（1）学校基本調査

基準日：平成30年5月1日

（2）平成30年工業統計調査

基準日：平成30年6月1日

調査員：1名

(3) 平成30年住宅・土地統計調査

基準日：平成30年10月1日

指導員：1名

調査員：1名

(4) 平成30年度市町村民経済計算

調査対象年度：平成28年度

(5) 平成30年度国民生活基礎調査（所得票）及び高齢期における社会保障に関する意識調査

調査日：平成30年6月7日、7月12日

調査員：2名

7. ふるさと山江村定住奨励記念品贈呈

定住を奨励することを目的として、村内に住宅を新たに建設又は購入し、村に転入した者に対し歓迎の意を込め記念品を贈呈した。

○「温泉ほたる」温泉入浴券12枚×26セットを贈呈：1件

○「ほたる米」引換券12枚（240kg分）を贈呈：1件

8. 山江村ふるさと応援寄附

【寄附金内訳】 平成30年4月～平成31年3月寄附

	寄附者の寄附金希望使途事業	金額
1	特産品の開発及び地域産業の振興に関する事業	610,600円
2	高齢者の生活を支援する地域づくりに関する事業	480,000円
3	自然環境保全並びに地域景観の創造に関する事業	520,000円
4	青少年の健全育成及び教育環境整備に関する事業	700,000円
5	伝統芸能並びに文化の伝承及び創造に関する事業	190,000円
6	ボンネットバス「マロン号」の保存及び活用に関する事業	270,000円
7	その他目的達成のために村長が必要と認める事業	13,790,000円
	合計（867件）	16,560,000円

今年度は、その他目的達成のために村長が必要と認める事業より、山江村のゆるキャラ「やまえくり平」の着ぐるみ（バルーン式）を制作。

事業費：918,000円

9. 土地利用

国土利用計画では、土地の利用について土地の高騰を抑制して、乱開発を未然に防止するため届出制による土地取引を義務付けている。

○ 国土利用計画法第23条第1項による届出件数（10,000㎡以上）

届出件数：なし

10. 総合行政システム機器更新

平成25年度のシステム更新から5年が経過し、管理用端末及びデータサーバ等の総合行政システムの機器更新を行った。また、導入当初のOS（Windows7）についても、平成31年度でマイクロソフト社の保守が無くなる見込みであり、新しいOS（Windows10）への更新も行った。

11. 山江村移住定住促進事業

平成30年度は、堂園地区宅地分譲地（3区画）の確定測量及び分筆登記後販売価格を決定し、譲受者の募集を開始した。

○堂園地区宅地分譲事業

- ・ 堂園地区宅地分譲地確定測量業務 810,000円
- ・ 堂園地区宅地分譲地不動産鑑定業務 234,360円
- ・ 1号地販売金額 2,231,000円（252.88㎡）
- ・ 2号地販売金額 2,428,000円（254.49㎡）
- ・ 3号地販売金額 2,372,000円（253.33㎡）

○山江村移住定住促進委員会の開催（1回）

12. 山江村地域づくり研究所

地域づくり研究所は、山江村の情報をあまねく集め、データ化することで、誰にでも現状の見える化を図り、地域の課題を解決する調査・研究や提言を行うことや、村民生活のあらゆる分野においてICTを活用することで、安心安全な暮らしや、福祉の

向上、産業振興による所得の向上、雇用の創出を進める。

また、地域づくりの実践活動を支援する事業も行っており、全国的に観光地域づくりが進められる中、本村においては山江村未来塾 100 委員会に新たな部会が誕生し、幅広い分野で住民主体の地域づくり活動が活発化している。これまでの住民主体の地域づくりの活動を基盤とした観光地域づくりの推進組織として、『山江村観光交流促進協議会』を平成 31 年 2 月 27 日に設立した。

東京大学大学院情報学環須藤研究室と ICT の活用についての共同研究に取り組んでおり、民間・大学・行政の連携の中に、新たな村づくりを進める。

(1) 東京大学との共同研究

① 共同研究負担金：6,997,320 円

【研究結果】

- ・ 山江村地方創生情報化戦略の進捗状況報告書
- ・ 講演会の開催
(演題：「人口減少時代と人工知能」、東京大学大学院情報学環 須藤 修教授)
- ・ やまえ栗まつりでのパネルディスカッション等の実施、パネル製作
- ・ 地域づくり研究所のホームページ管理
- ・ 和栗ライブラリーの提案とサポート
- ・ セミナーの開催
 - H30. 10. 14 ドローン講座（初級編）
 - H30. 10. 20 調べ方の基本+山江村の歴史
 - H30. 11. 20 栗スイーツ講習会
 - H31. 03. 09 「調べ方の基本」 & 「写真の撮り方」

(2) 研究分野

- ① 村が作成する計画への政策提言
- ② 山江村のデータ収集

事務報告、観光統計、山江村総合振興計画、高齢者福祉計画、熊本県市町村要覧、栗に関する書籍、栗のレシピ、新聞記事、昔の山江村の写真等

(3) ICT分野

① 情報発信と閲覧分析

【HP、Youtube】

・HP管理（山江村役場、山江村地域づくり研究所、移住定住、山江村フットパス、やまえ栗）、Youtube（山江村地域づくり研究所、山江村ケーブルテレビ、山江村フットパス）

・山江村観光交流ホームページの構築

村民との交流から生まれる観光交流事業拡大のため、村ホームページの再構築作業にあわせ観光交流ホームページを構築した。

事業費：6,663,600円（地方創生推進交付金を活用）

【SNS】

・Facebook管理（山江村、山江村地域づくり研究所、山江村未来塾100人委員会、やまえ栗まつり、山江フットパス）

【紙面】

・山江村地域づくり研究所通信 NO.8

広報やまえ 2018.10月号~2019.3月号

② 情報化推進員

村内16地区に1名ずつ設置。各推進員にiPadを貸与し、地域の出来事や困りごとなどインターネットを使って情報を共有する。

③ 村政モニター

住民ニーズや山江村に関するアンケートにインターネットを利用して回答。

平成30年度 3回実施

(4) 人づくり分野

① 山江村未来塾100人委員会

山江村未来塾100人委員会は、「村民の誰もが元気で楽しく暮らしやすい村づくり」の実現を目指す住民参画による地域づくり組織である。今年度新たに「商品企画開発部会」が12月に立ち上がり、10部会において分野別に自らの夢と希望の実現に向けて、地域づくり活動を行っている。

【全体会の開催】

- ・日時：平成 30 年 8 月 5 日（日） 午後 2 時
- ・場所：山江村農村環境改善センター2F 大会議室
- ・内容：山江村未来塾 100 人委員会の 2 年間の経過説明
各部会からの発表
基調講演「地域づくりは、まず一歩踏み出すことから」
(火の国未来づくりネットワーク 人吉球磨支部長 遠山 好勝 氏)

【地域づくり活動補助金】 補助金（総額）：619,293 円（5 団体）

【地域づくり業務委託】 2,000,000 円(外部専門家アドバイザー事業の活用)

○100 人委員会 部会ごとの活動実績

部会	活動の具体的内容	会員
① 若手農業者部会 部会長：松本聖司 書記：秋丸大輔	・給食用食材の栽培（たまねぎ・じゃがいも） ・やまえ栗まつりへの出店	5 人
② やまえ栗ブランド 部会長：久保田武久 書記：田山雄貴	・栗栽培マニュアルの作成と普及活動 ・栗スイーツ講習会（11/20）※果樹研究会と合同 ・先進地研修の実施（3/13）※果樹研究会と合同	11 人
③ 観光・交流 部会長：田村四郎 書記：中竹浩之	・山江村観光ガイドブック製作 ・山江村観光案内人の育成 ・鳥追い小屋の制作 ・フットパス「新層奇石コース」の開発	18 人
④ 食の提供 部会長：山北早織 書記：尾方恵美	・トキの朝市の開催（4/29、11/4） ・やまえ栗まつりへの出店 ・先進地研修の実施（12/8-9）	12 人
⑤ 情報発信 部会長：山本浩己 書記：藤本一彦	・Facebook「知ったかぶり!山江村情報ネットワーク」 立ち上げ（9/19） ・子育てにやさしい村のPR動画の完成（10/25）	7 人
⑥ 環境・防災 部会長：横山浩之 書記：山本征治	なし	14 人

⑦ 福祉 部会長：川内孝之 書記：深水久美子	・寺子屋の開催（8/26、12/2）	11人
⑧ 健康・スポーツ 部会長：谷川正晃 書記：藤田雄哉	・ストレッチ・体幹トレーニングのビデオ作成 ・クリスマスフットサルの開催（12/24）	7人
⑨ 文化・教育 部会長：横山理恵 書記：吉川和子	・「やまえの花まつり」の絵本・紙芝居完成	9人
⑩ 商品企画開発 部会長：岩崎 清佳 書記：高橋 かおる	・12月5日設立。 ・やまえ栗を使った試作品づくり	6人

② 山江村観光交流促進協議会

本村に係るヒト、モノ、コトそして情報化戦略をもとに、村民自らが参画した交流ネットワーク組織として、多様な人材と関係機関が連携した観光・交流による観光地域づくりを実現することを目的に設立した。

【設立総会】

- ・日時：平成31年2月27日 午後6時30分
- ・場所：時代の駅むらやくば
- ・議題：山江村観光交流促進協議会の設立について
山江村観光交流促進協議会規約(案)について
山江村観光交流促進協議会役員の選出について

(役員) 会 長 田村 四郎

(山江村未来塾100人委員会・観光交流部会長)

副会長 山北 早織

(山江村未来塾100人委員会・食の提供部会長)

中渡 敬司 ((株)やまえ 支配人)

監 事 山本 浩己

(山江村未来塾100人委員会・情報発信部会長)

中竹 幸利 (山江フットパス代表)

【運営支援業務委託】 1,096,416円 (地方創生推進交付金を活用)

③ 人材バンク

個人の持つ能力を村内で活用できるように登録制の「人材バンク」を設置。
(9名登録)

13. 第6次山江村総合振興計画策定

2019年度から2028年度までの10年間、むらづくりを進める上で最も上位に位置付けられる計画である、第6次山江村総合振興計画「基本構想」及び2023年度までの5か年を計画期間とする前期基本計画の策定を行なった。

- ・第6次山江村総合振興計画策定支援業務委託（委託料4,849,200円）
- ・受託者 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

商工観光係

少子高齢化・人口減少が進む中で、人手不足感を克服し、持続可能な経済成長につなげるためには、働き方改革と新技術の導入を同時に進め、生産性の向上と多様な人材の労働参加を図ることが大きな課題である。

このような中、本年度で4年目を迎えたプレミアム付き商品券の発行については、山江村商工会にて事業を実施しているが、村内事業所へ23,939,000円の経済効果が生まれた。

一方、「第14回やまえ栗まつり」については、3回目となるスイーツフェスタと生栗販売、生栗掴み取りなど、ステージ内外でのイベントの充実やPR効果も相まって、9,500名の来場があったが、県内からの来場多く、県外客と比較すると購買意欲が低い為、県外からの集客を行うことが課題である。

昨年度、黒字決算となった山江温泉「ほたる」・山江村物産館「ゆっくり」の経営状況は、昨年度に引き続き黒字決算となり。累積赤字も解消した。ただ、次年度以降も経営改善に取り組んでいく必要がある。

このほか、特産品の販路拡大を推進するため、特産品等の出展に係る助成、ボンネットバスを活用してのイベント等参加を行った。

最後に、山江村の観光交流に係る団体が情報を共有し、山江版「DMO」の実現に向けて「山江村観光交流促進協議会」を設立された。

1. イベント

①やまえつつじ祭り

ホームページ等に丸岡公園のつつじの開花状況を情報発信し、つつじの名所の魅力と山江村の良さをアピールするとともに、祭りによる交流人口拡大を目指すことを目的としている。

■期日：平成30年4月14日（土）～22日（日）

■場所：丸岡公園一帯（四半的弓道大会：山江村体育館）

■内容：紅白もち投げ、クイズラリー、ヤマメのつかみ取り、演芸大会、抽選会
キャラクターショー

■事業費：2,819,179円

■売上：村内団体 1,189,090円

②やまえ栗まつり（第14回）

主要産業である「栗」を活用したイベントを実施し、やまえ栗のブランド力向上をはじめ、生産意欲の高揚や6次産業化を加速させ、販路拡大、交流人口の増加を図ることを目的に開催。昨年度実施したスイーツフェスタの反響、TV出演をはじめとするPR効果もあったことから、9,500人を超える来場者であった。また、熊本県から小野副知事のご出席をはじめ、国会議員の方にもご出席いただき、イベントに花を添えていただいた。

■期日：平成30年9月23日（日）

■場所：山江村役場前広場

■出店：やまえ栗スイーツ出店17店舗、村内バザー出店16店舗

■内容：やまえ栗スイーツフェスタ、やまえ栗展示、やまえ栗の販売、栗の掴み取り、パネルディスカッション
イガ投げ風船割り、ボンネットバスドライブ、フォトコンテスト、隠れく
り平をさがせ、フォトスポット など

■事業費：4,475,160円（交付金2,237,580円）

■売上：村内団体 4,316,270円

スイーツ店 4,317,960円

○やまえ栗まつり やまえ栗スイーツ一覧

番号	店名	住所	商品名 1	商品名 2	商品名 3
1	アントルメ菓樹	熊本市	里山モンブラン		
2	メゾン・ド・キタガワ	熊本市	和栗のやまえモンブラン	山江マロンパイ	山江モンブラン
3	菓子屋 木いちご	菊陽町	モンブラン	わらびもち	
4	ラッキーランチ	人吉市	マロンショコラ	マロンカシス	ギオン
5	ケーキ工房 ポエム	人吉市	やまえ栗のロールケーキ	やまえ栗のタルト	
6	那須宝来堂	多良木町	山江渋川栗の球磨焼酎カステラ	山江渋川栗饅頭	
7	庄籠製菓舗	湯前町	栗豊稜	ふわふわ巻き和三栗	
8	川辺製菓本舗	多良木町	モンブランロールケーキ	チョコ焼きドーナツマロン	栗どら
9	プチ・シュン	熊本市	モンブラン	マロンパイ	マロンロール
10	Komorebi	熊本市	やまえ栗のガレット	やまえ栗のパウンドケーキ	
11	かしの季	菊陽町	やまえ栗スペシャルモンブラン	やまえ栗のせりまージュ	
12	ナチュラル	人吉市	ボンボンマロン	栗のロールケーキ	モンブラン
13	菓子工房KANEKO	あさぎり町	ソイブラン	ショコラモンブラン	秋の香
14	兼田製菓舗	湯前町	黒糖栗カステラ	モンブラン	マロンシュー
15	まめこや	人吉市	ウィナーマロンシロップコーヒー		
16	山江村物産館ゆっくり	山江村	マロンパイ	栗どら BIG	

本村は観光拠点となる施設及び多くの資源に恵まれた環境にある。人々の交流促進、経済の活性化、観光の振興にはどうしても情報の発信が必要不可欠である。

都市部での催事等に参加し、本村の魅力や観光等のPRを実施。また、各種情報媒体を可能な限り駆使し、観光宣伝活動を実施した（テレビ、ラジオ番組、新聞、雑誌掲載、ホームページ、SNS等）。

山江温泉「ほたる」と物産館「ゆっくり」については、昨年度に引き続き経営改善に努めた結果、3期連続での黒字決算となった。累積赤字解消に向け、更なる経営改革に取り組むよう支援・指導を行う。

2. (株) やまえ

・山江温泉「ほたる」宿泊者数（人）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
2,693	3,839	3,977	4,529

・山江温泉ほたる及び物産館ゆっくり利用者数（人）

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
山江温泉ほたる	84,873	85,930	88,093	80,363
物産館ゆっくり	60,756	41,554	41,886	37,501
計	145,629	127,484	129,979	117,864

・売上額（千円）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
202,596	206,098	197,613	202,029

・当期純利益（千円）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
△8,199	10,001	10,901	4,566

・施設工事

工 事 名	工期	工事請負額
温泉ほたる食堂エアコン修繕工事	H30.5.21~H30.6.22	2,235,893 円
温泉ほたる雨漏り修繕工事	H30.10.22~H31.3.15	1,649,299 円
物産館外構工事	H30.5.21~H30.6.11	604,800 円
栗加工施設ボイラ格納庫建築工事	H31.1.25~H31.2.28	4,050,000 円
物産館加工室冷凍庫取替工事	H31.3.15~H31.3.29	2,356,236 円

3. 特産物振興関係

特産である栗のブランディングを行うことで、村民所得と山江村の認知度向上を目指している。

海外でのブランディング活動として、シンガポール高島屋にてやまえ栗商品の販売を行い、シンガポール人をはじめアセアン各国の方々にも高評価を得た。このほか、アジア No. 1 パティシエであるジャニスウォン氏と商談を行い、これから彼女との取引が期待できる。一方日本国内においては、ANA 機内誌「翼の王国」へ記事掲載や、世界的パティシエ小山進氏がオーナーを務めるエスコヤマとの商談を進めるなどやまえ栗のブランディングは着実に進んでいる。

また、平成21年に「海山交流宣言」を交した対馬市においては、11月4日（日）に開催された「第31回いきいき豊玉産業祭」にて栗及び栗加工品等の物産販売を行った。特産品である栗を使用した加工品や地域産物等の評判も順調である。

対馬市からは平成24年度から毎年、産業振興まつりにおいて特産品の販売を実施していただいている。今後も更なる交流促進を検討する必要がある。

(1) 山江村特産品等出店事業助成金交付実績

① 『秋の九州物産大会』

期日：9月18日～26日

場所：大阪市北区角田町8-7

出展物：栗まんじゅう、びっくり団子、柚子まるん

② 『スーパーマーケットトレードショー』

期日：2月13日～15日

場所：千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

出店物：栗まんじゅう、びっくり団子、栗きんとん、柚子まるん、
渋皮煮パイ包み

③ 『やまえ栗ブランディング業務に伴う海外物産展』

期日：3月4日～17日

場所：391 Orchard Road, SINGAPORE 238873（シンガポール高島屋）

出展物：栗まんじゅう、びっくり団子、柚子まるん、栗ようかん、
渋皮煮包みパイ、やまえ栗渋皮煮大粒、やまえ栗きんとん

(2) 海山交流事業 (対馬市)

① 『第31回いきいき豊玉まつり産業祭』

期日：11月3日(土)から11月4日(日)

場所：長崎県対馬市

参加事業者：物産振興会、(株)やまえ

出店物：栗まんじゅう、米、わらび、たけのこ、ぜんまいなど

売上：113,580円

(3) 地方創生推進交付金事業

総事業費6,539,200円 (補助率1/2)

①やまえ栗ブランディング業務

②やまえ栗の情報誌掲載業務

4. 内水面漁業振興に関すること

(1) ヤマメの養殖

漁業振興と地域活性化を目的に、昭和63年度内水面漁業振興対策事業により淡水魚(ヤマメ)養殖施設を整備。

平成16年度からヤマメ生産組合へ施設管理委託を行っている。

(2) ヤマメの放流

ヤマメの放流を行いヤマメの増殖を図ることで、自然豊かな山江村のイメージを向上させる。

放流日(1回目)：平成30年5月29日(火)

放流稚魚数：4,166匹 放流場所：万江川の各所

放流日(2回目)：平成30年12月12日(水)

放流稚魚数：433匹 放流場所：万江川の各所

(3) 稚鮎放流

昭和45年に球磨川漁協と毎年稚鮎30,000匹を万江川へ放流する稚鮎放流に関する契約を締結。

アユ放流負担金240,000円

放流日：平成30年4月24日(火)

5. グリーンツーリズム・交流事業

自然、歴史と文化、農林業など地域にあるものを見つめなおすとともに、その資源を活用しながらあるがままの山江村を体感することによって生まれる感動を根本とする交流活動を推進している。

村内団体により、下記のような交流活動が行われた。

団体名	内 容	期日等	備 考
NPOかちゃリンクやまえ	第18回万江川塾	8月18日	77名参加

6. 丸岡会関係

本村出身者で構成される丸岡会は、山江村の振興策の提言や交流促進を目的にお互いの親睦を深め、情報を共有するために開催される。関東丸岡会へは、昨年度作成したゆるキャラ「やまえくり平」も参加し、多くの参加者から好評を得た。

① 熊本丸岡会

期日：平成30年6月10日（日）

場所：熊本ホテルキャッスル

参加者：38名（会員28名、山江村から10名）

② 関西丸岡会

期日：平成31年2月4日（日）

場所：ホテルアウィーナ大阪（大阪府）

参加者：83名（会員61名、山江村から26名）

7. 結婚対策

進行する晩婚化や少子化に対応すべく、球磨郡9ヵ町村にて「結婚支援協定」が平成24年4月13日に締結され、広域で連携した支援を行っている。定期的に打合せ会議を開催し、イベントの企画を行った。

また、山江村社会福祉協議会主催によるアルペンローゼ（婚活支援事業）が展開されており、村としても「山江村婚活支援事業助成金交付要綱」を制定し参加費の一部支援を行っている。

開催イベント

●球磨郡9町村合同企画 カップリングパーティー

期 日：平成30年11月18日（日）

場 所：PRIMAVERA（人吉市）

参加者：男性2人・女性0人

●アルペンローゼ 鍋パーティー

期 日：平成31年1月26日（土）

場 所：尾崎公民館

参加者：男性2人・女性1人

情報通信係

地上アナログ放送の終了に伴う難視聴地域対策として、平成 22 年 4 月に開局したケーブルテレビセンターは、デジタル放送・BS 放送・CS 放送に加え村内のイベントや、行政からのお知らせなど、山江村の情報を提供する自主放送を行っている。

また、情報格差の是正として、光ファイバーによる高速インターネットを村内全域で利用できる環境を構築することで、産業経済及び教育文化の向上、村民福祉の増進を図っている。

しかし、開局より 8 年が経過し情報基盤通信機器の老朽化が進んでいるため、平成 28 年度より 3 カ年計画で機器の更新を行っている。また、4K・8K 放送の対応等新たな課題が出てきている。

また携帯電話等の不感地域解消のため、国の補助金を活用し万江横手・日当・鳥屋の 3 地区に携帯基地局の整備を行った。これにより山江村の人口カバー率は 100% となり、携帯電話の不感地域は解消された。

1 加入状況

ケーブルテレビ

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 30 年 3 月末	1, 148	938 件	81. 71%	事業所等 54 件
平成 31 年 3 月末	1, 152	937 件	81. 34%	事業所等 55 件

インターネット

年 月	実質世帯数	加入件数	加入率	備考
平成 30 年 3 月末	1, 148	262 件	22. 82%	事業所等 10 件
平成 31 年 3 月末	1, 152	268 件	23. 26%	事業所等 11 件

加入状況について昨年度末と比較すると、ケーブルテレビの加入件数については 1 件の減となっている。世帯数も微増しており、近年加入率は 80% 程で推移している。加入件数と新規の引込件数が増加し新たにケーブルテレビに加入する世帯が増えている。

インターネットについては、加入件数が 6 件の増、加入率が 0. 44% の増となっており、年々増加している傾向にある。

2 ケーブルテレビ事業運営状況

(1) 使用料、手数料収入

○料金設定

- ・基本使用料 1, 500円 (セットトップボックス1台含む)
- ・セットトップボックス1台 500円
- ・インターネット 2, 500円 (一般世帯)、4, 000円 (事業所等)
- ・無線ルータレンタル 100円

○収入済額

- ・使用料現年度分 24, 631, 200円
- ・使用料過年度分 205, 900円

(2) 番組制作

○やくばだより

- ・各課から選出の代表者により会議を行い、やくばだよりでお知らせする内容などを検討した。会議は2週間に1回行い年間26回の開催となった。

(毎週土曜日更新の15分番組)

○やまえ CATV 情報局

- ・山江村に関するイベントや村内の出来事などを伝えるニュース番組

(毎週土曜日更新の30分番組)

○やまえ TODAY

- ・毎日の出来事や翌日のお知らせ、おくやみ等を伝えるニュース番組
平成26年5月より放送を開始した。

15時頃までに撮影できた映像を編集し、その日の18時55分に放送している。

(議会開催日を除いた平日更新の5分番組)

○スペシャル番組

- ・体育祭や式典などを30分から2時間程度の長時間で編集した番組

(不定期更新)

○その他の番組

- ・テレビ回覧板、テレビ村長室、ドキュメンタリー番組「やまえ NOW」
議会の生中継・録画放送、健康体操、その他緊急放送

(3) 機器操作等サポート

○サポート状況

- ・加入者からの連絡により毎週数回は加入者宅へ出向いてのサポートを行っている。また、休日のテレビ視聴が多いためか土日の連絡が月に数回ある。

○サポート内容

- ・主なサポート内容は次のとおり

テレビが映らない

- ・テレビの入力切替
- ・リモコンのスイッチ切替
- ・テレビや STB 等の電源が入っていない
- ・テレビの移動等による配線間違い

電話がつながらない

- ・電話機の故障
- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合

インターネットがつながらない

- ・告知端末の不具合
- ・ONU の不具合
- ・無線ルータの不具合

※簡単な操作誤りや、すぐに回復できるケースが多い。

※開局から 8 年を経過し、宅内機器の経年劣化による故障も目立ち始めている。

※機器の交換など専門性を要するものについては、(有)興和通信と締結している保守の範囲内で実施する。

3 ケーブルテレビ業務委託事業

(1) 平成30年度ケーブルテレビ施設設備維持管理業務委託

事業理由：情報格差の是正、難視聴地域の解消を目的に導入したケーブルテレビ事業の施設設備の維持管理を委託するもので、年間を通じた受信点設備・ケーブルテレビセンター設備保守点検・伝送路設備点検・伝送路保全工事を実施するもの。

委託業者：熊本市中央区萩原町14番45号

株式会社SYSKEN

代表取締役 福元秀典

委託費：14,284,296円

(2) 平成30年度 山江村情報基盤通信機器更改業務

事業理由：平成22年のケーブルテレビセンター開設から8年が経過し、センター内情報基盤通信機器を計画的に更新を行っていく必要がある。更新については年次計画に基づき3年間かけて実施していく。

(今回2ヵ年目 平成29年度～平成31年度)

委託業者：福岡市博多区博多駅東2丁目3番1号

株式会社NTTフィールドテクノ 九州支店

取締役九州支店長 板坂 敏之

委託費：47,649,600円

(3) 平成30年度 山江村議会議場映像制作機器更改業務

事業理由：平成22年のケーブルテレビセンター開設から8年が経過し、議場内の映像制作機器不具合により、放送に支障をきたす事案が発生したため、緊急性を要するものとして実施した。

委託業者：福岡市博多区博多駅東2丁目3番1号

株式会社NTTフィールドテクノ 九州支店

取締役九州支店長 板坂 敏之

委託費：2,160,000円

4 移動通信用施設整備事業

山間地域の情報格差を是正するとともに、地域住民の生活利便性の向上及び地域経済の活性化を図るとともに、事故・事件等の不測の事態における緊急連絡手段を確保し、地域の安全・安心を確保するため、携帯電話等エリア整備事業補助金を活用し、移動通信用施設いわゆる携帯電話基地局の整備事業に取り組んだ。

○事業名 山江村移動通信用施設整備事業

○整備内容 移動通信用鉄塔施設整備工事（3基地局）

伝送路設備設置工事（3基地局）

電気通信設備購工事（3基地局）

○事業費 77,577,378円

（内訳）鉄塔施設整備 58,939,574円

伝送路施設整備 5,076,000円

電気通信設備整備 7,563,240円

移動通信用施設整備 5,998,564円

○契約相手及び契約額

鉄塔施設整備工事：西部電気工業 株式会社 42,012,000円

鉄塔施設設計・監理業務：株式会社NTTフアンティーズ 九州支店 16,927,574円

伝送路施設整備工事：株式会社 SYSKEN 2,160,000円

伝送路設計・監理業務：NTTインフラネット 株式会社 2,916,000円

電気通信施設整備工事：株式会社 SYSKEN 4,428,000円

電気通信施設設計・監理業務：株式会社 NTTドコモ 3,135,240円

移動通信用施設備品購入：株式会社 NTTドコモ 5,998,564円